

緊急学習会

『10 万年の大うそ 核のゴミ』

～幌延・北海道を「核のゴミ」の最終処分場にしないために～

10 万年もの間、管理が必要とされる猛毒の「核のゴミ」（高レベル放射性廃棄物）を地層深くに埋め捨てる研究が幌延で行われています。

これについては計画当初、研究期間を「20 年程度」と明記し、この計画に基づき 2000 年、北海道と幌延町、現・日本原子力研究開発機構の三者が協定を結び「研究が終わったら埋め戻す」「放射性物質は持ち込まない」としています。しかし、機構は埋め戻しの時期や工程を示すことなく、8 月、研究期間「延長」の計画案を道と幌延町に提出。道と幌延町は、機構側に計画案の説明を求め、地質学の専門家などの意見を聞くための確認会議を複数回開き、是非を判断するとしています。

今回の研究期間「延長」は三者協定を反故にするものであり、なし崩し的に幌延が「核のゴミ」の最終処分場となることが強く危惧されます。

山本さんの著書『10 万年の大うそ 核のゴミ』をもとに、「国の『核のゴミ』の地層処分政策がとてつもない『大うそ』の上で進められている」ことをわかりやすく話していただき、今、私たちがなすべきことをともに考えたいと思います。一人でも多くの参加をお待ちしています。



山本行雄（やまもとゆきお）さん
プロフィール

弁護士、「放射能汚染防止法」を制定する札幌市民の会法律アドバイザー、上記会の構成団体である原子力公害に取り組む札幌市民の会の代表、元日弁連公害対策・環境保全委員会委員（原子力専門部会特別委嘱）、元幌延問題道民懇談会事務局長
著書「制定しよう 放射能汚染防止法」（ブイツーソリューション）、
「10 万年の大うそ 核のゴミ」

日 時：10 月 26 日（土）18:00～19:30

場 所：かでる 2.7 940 研修室

北 2 条西 7 丁目

講 師：山本 行雄さん（弁護士）

参加費：500 円（学生 無料）

主催・連絡先：市民ネットワーク北海道

TEL 219-0112 FAX 219-0113 E-mail home@snet21.jp